



FC岐阜

岐阜県の子ども達の運動能力低下を改善！！－ホームタウン42巡回サッカー教室×ドリームプロジェクト－ 1/2

コロナ禍以降、岐阜県の小学生の体力・運動能力は大きく低下し、全国体力・運動能力調査では全国平均を下回り、順位も40位と過去最低水準となった。外遊びや運動機会の減少により、「体を動かす楽しさ」を経験できない子どもが増えていることは、将来の健康や自己肯定感の低下にもつながる深刻な地域課題である。FC岐阜はこの課題をスポーツクラブとして真正面から受け止め、教育機関・自治体・企業と連携し、県内42市町村すべてに運動機会を届ける取り組みを推進。巡回型のサッカー教室とドリームプロジェクトを通じ、子どもたちの「運動するきっかけづくり」と「成功体験の創出」に挑戦している。



活動場所 岐阜県内全域の幼稚園、保育園、小学校、特別支援学校



協働者

行政、企業、住民、学校、学生、選手

協働者名

岐阜県内全域の幼稚園および保育園(140園)、小学校(4校)、岐阜車体株式会社、長谷虎紡績株式会社、株式会社タカイコーポレーションほかパートナー43社



協働者の声

長谷虎紡績株式会社 代表取締役社長／長谷 享治 氏



スポーツには人を笑顔に、元気にする力があります。FC岐阜ドリームプロジェクト等のFC岐阜が行う活動を通して、クラブと地元企業が連携し、地域の子供たちにスポーツをする楽しさを感じて貰う場を提供することができました。普段ピッチでしか見ることのできない選手と実際に触れ合い、そこで生まれた感動は一生の思い出に残るものだと思います。



活動詳細情報

- 1 [公式サイト](#)
- 2 [岐阜車体工業](#)
- 3 [長谷虎紡績公式ブログ](#)



カテゴリ(SDGs)／取り組みテーマ





FC岐阜

岐阜県の子ども達の運動能力低下を改善!! — ホームタウン42巡回サッカー教室 × ドリームプロジェクト — 2/2

Story

FC岐阜は、岐阜県の小学生の運動能力低下という地域課題に対し、「県内すべての子どもに平等な運動機会を届ける」ことを目的に、ホームタウン42巡回サッカー教室とドリームプロジェクトを展開している。

1. 全県域を対象とした幼保巡回サッカー教室（運動するきっかけづくり）

HT42幼保巡回サッカー教室では、企業パートナー8社と連携し、岐阜県内全地域を対象に活動を実施。岐阜地区25回、西濃地区23回、東濃地区19回、中農地区25回、飛騨地区7回、合計のべ100園の幼稚園・保育園で開催し、2,893人の子どもたちが参加した。



サッカー教室のメニューには、走る・跳ぶ・蹴る・投げるといったいわゆるコーディネーショントレーニングを取り入れ、運動が苦手な子どもでも「できた」「楽しい」と感じられるプログラムを提供している。サッカー教室を実施した園からは、「子ども達が楽しんでいる姿が印象的だった」、「今後も継続的に行ってほしい」といった声が寄せられている。

2. 持続可能な社会に向けた取り組み(運動するきっかけづくり・成功体験の創出)

ドリームプロジェクトでは、43社の企業パートナーの協力により、サッカーボール330球を県内59校の小学校へ寄贈。トップチームの選手だけでなく、FC岐阜ファミリーである柏木陽介氏も参加したサッカー教室を実施し、子どもたちにとって記憶に残る特別な体験を創出した。

これらの取り組みは、単なるスポーツ教室に留まらず、地域・企業・クラブが一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みである。FC岐阜は今後も42市町村を巡り、誰一人取り残さない運動機会の創出を通じて、岐阜県の子どもたちの健やかな成長と地域の未来に貢献していく。

